

未来は想像を超えて・・・



Ethical Procool

Ethical Procool

エシカルプロクール



水系フッ素樹脂

プロクールF

水系アクリルシリコン樹脂

プロクールSi

水系アクリル樹脂

プロクールA

- 高耐候
- 遮熱・放熱効果
- 超低汚染
- 防藻・防カビ
- 環境配慮



NCK販売株式会社

エシカルプロクールF

水系フッ素樹脂・超低汚染・F☆☆☆☆

22

20年先の 未来へ

製品名	エシカルプロクールF
光沢	5分艶
組成	水系フッ素樹脂
期待耐用年数	16~22年

住宅の屋根・外壁を高級フッ素で
更に防汚力アップ！

エシカルプロクールシリーズの特長

水系

機能性

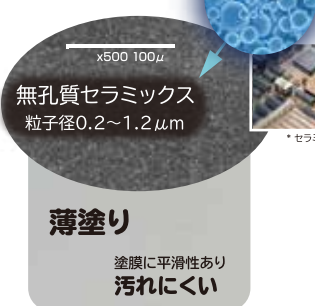
”冷めやすい” 遮熱塗料のチカラ！

- 特殊セラミックスの粒子径により太陽光を高反射
- 優れた放熱性で輻射熱を軽減

セラミックスが違くと仕上がりも!?

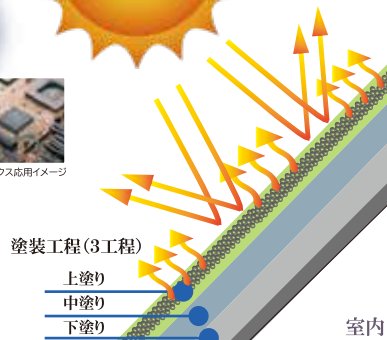


他社の遮熱塗料



エシカルプロクール

プラス
高目射反射 + 放熱性能
= 屋根温度の抑制



防汚力

防藻・防カビ
超低汚染タイプ

高耐候

無機顔料で
色持ちアップ

省エネ

夏は遮熱
冬は保温

エシカルプロクールSi

JIS K 5675 屋根用高日射反射率塗料1種LG級

15

塗るだけで 省エネ！

製品名	エシカルプロクールSi
光沢	5分艶
組成	水系アクリルシリコン樹脂
期待耐用年数	10～15年

高機能性で安心・安全！

遮熱効果のロジック

1. 屋根温度の抑制 **直接的な効果**

塗装後、約20～25℃前後の抑制効果を実証されています。

2. 室内温度の抑制 **間接的な効果**

塗装後、約2～7℃前後の抑制効果を実証されています。

3. 空調負荷の抑制 **間接的な効果**

塗装後、約10～35%前後の削減効果を実証されています。

エシカルプロクールA

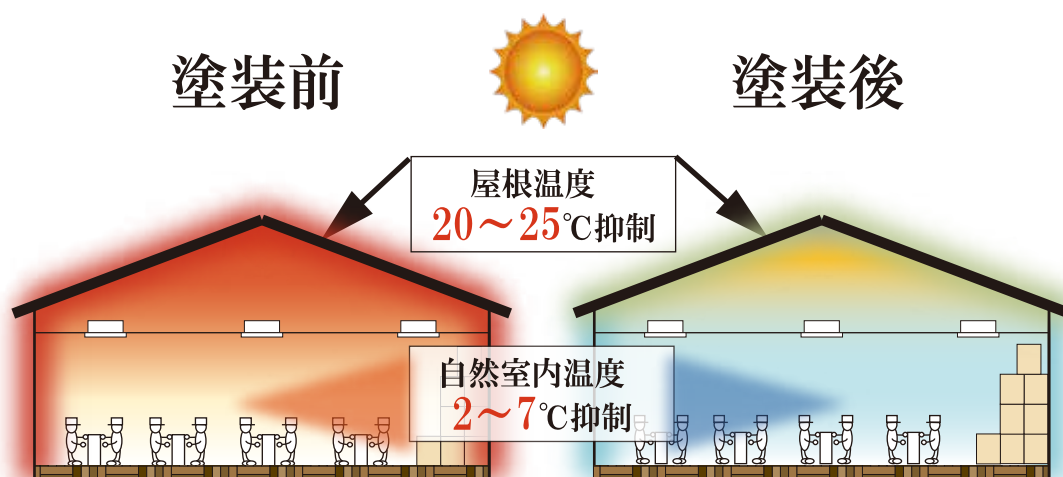
ホルムアルデヒド放散等級 F☆☆☆☆

環境にやさしい 暑さ対策

製品名	エシカルプロクールA
光沢	5分艶
組成	水系アクリル樹脂
期待耐用年数	6~8年

施工性抜群！

効果イメージ



*外気温30°C以上の夏日想定
*EPC-009(白色)効果想定

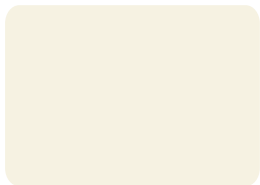
塗装本来の目的である美観性の維持と即効性のある「暑さ・省エネ対策」に最適です。

標準色 22色

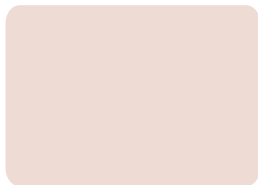
プロクールシリーズ

5分艶

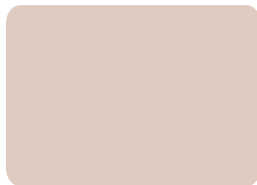
プロクールF
プロクールSi
プロクールA



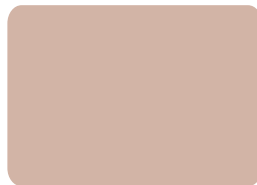
▲ EPC 030 (82.6%)



▲ EPC 031 (80.5%)



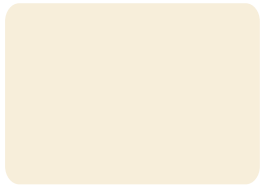
▲ EPC 032 (79.2%)



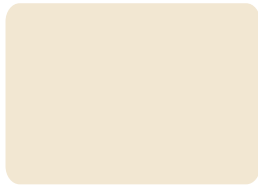
▲ EPC 033 (77.3%)



▲ EPC 034 (72.3%)



▲ EPC 040 (83.1%)



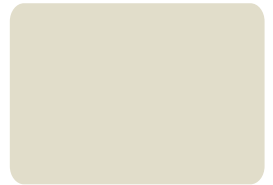
▲ EPC 041 (82.0%)



▲ EPC 043 (74.9%)



▲ EPC 044 (70.2%)



▲ EPC 050 (81.0%)



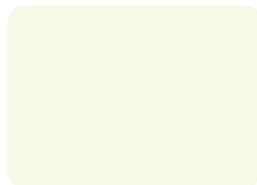
▲ EPC 052 (78.7%)



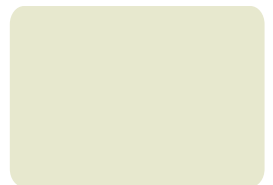
▲ EPC 053 (73.3%)



▲ EPC 054 (68.4%)



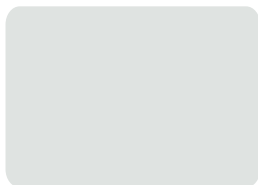
▲ EPC 060 (83.6%)



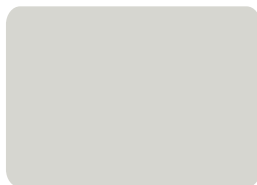
▲ EPC 061 (81.4%)



▲ EPC 064 (69.7%)



▲ EPC 070 (82.5%)



▲ EPC 071 (81.2%)



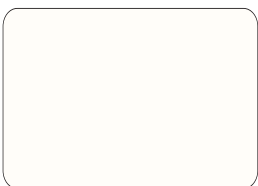
▲ EPC 072 (79.6%)



▲ EPC 073 (72.5%)



▲ EPC 074 (72.7%)



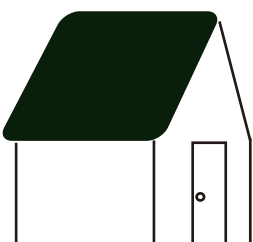
▲ EPC 009 (86.8%)

★ プロクールSiは標準色(22色)全てがJIS認証製品です。
JIS K 5675 屋根用高日射反射率塗料 1種 LG級

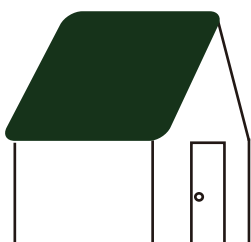
- ・この色見本は印刷インキの都合上、実際の仕上がりとは多少異なります。
- ・同じ色相でも塗料の種類、ツヤの違い、製造ロットによって異なります。
- ・広範囲に塗装すると、実際の色調より明るく見える場合があります。
- ・色によって材料費が割高になるものもございます。
- ・色見本内容は、将来予告なしに変更する場合があります。

特別色 4色

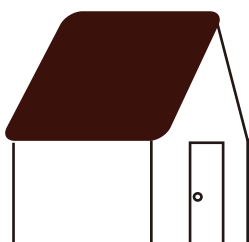
▼ EPC 101



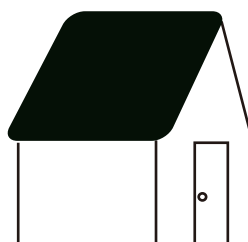
▼ EPC 102



▼ EPC 103



▼ EPC 104



プロクールF
プロクールSi
プロクールA

5分艶

- ★ 標準色 () 内の数値はプロクールSiの近赤外線領域(780~2500nm)で測定した数値です。
- ★ 白色が最も機能性が高い色となります。
- ★ 機能性を重視する場合、白色又は淡彩色がお勧めです。



上塗材 製品名	荷姿	内容	系統
● プロクール F	14kg / 缶 4kg / 缶	フッ素樹脂	1液 水系
[専用中塗材] プロクールF 中塗り	14kg / 缶 4kg / 缶	アクリルシリコン樹脂	
● プロクール Si	14kg / 缶 4kg / 缶	変性アクリルシリコン樹脂	1液 水系
● プロクール A	14kg / 缶	アクリル樹脂	1液 水系

下塗材 製品名		荷姿	内容	系統	
金属用	弱溶剤プライマー エポ	16kg / 缶	変性エポキシ樹脂	1液 弱溶剤	
	アクアサビオン	16kg / 缶	1液反応硬化型 エポキシ変性アクリル樹脂	1液 水系	
	エシカルプライマーJ (主剤14.4kg 硬化剤1.6kg)	16kg/セット	2液反応硬化型エポキシ樹脂	2液 弱溶剤	
非金属用	屋根 壁	弱溶剤クールシーラー	14kg / 缶	遮熱用エポキシ樹脂	1液 弱溶剤
	屋根 壁	水性ホワイトシーラー	15kg / 缶	カチオン系アクリル樹脂	1液 水系
	壁	ソフトウォール	16kg / 缶	可とう系改修塗材E	1液 水系
	壁	断熱ソフトウォール	12kg / 缶	断熱可とう系改修塗材E	1液 水系
防水用	マルチプライマーEP (主剤11.2kg 硬化剤4.8kg)	16kg/セット	2液反応硬化型エポキシ樹脂	2液 強溶剤	
	マルチプライマーEP 希釈専用シンナー	16kg / 缶 4kg / 缶	エポキシ系シンナー	溶剤	

● 塗装上の注意事項

- ✓ 降雨、降雪、強風が予想される場合や気温 5℃以下、湿度 85% 以上または結露が懸念される場合は塗装を避けてください。
- ✓ 施工後 24 時間以内に降雨、積雪、夜露、朝露、結露等があった場合、水の影響で色ムラ、気泡が発生する場合があります。
- ✓ 塗装面が高温（50℃以上）の場合は塗装を避けてください。
- ✓ 塗装間隔を厳守し塗装面は十分に乾燥させてください。乾燥が不十分な場合、垂れ、ムラ、剥離等の原因となります。
- ✓ 上塗材には特殊セラミックが配合されている為、必ず使用直前（各工程毎）3分以上攪拌機（低速回転）で攪拌してください。
- ✓ 2液の場合、主剤と硬化剤は正確に計量し混合してください。また、使用前は十分に攪拌し可使用時間内にご使用ください。
- ✓ 既存塗膜は事前にシンナーで拭き取り、溶解やリフティングが発生しない事を確認してください。
- ✓ 塗布量が少ないと防錆性や付着性が低下する為、必ず標準塗布量を塗布してください。
- ✓ 希釈で薄め過ぎると隠れ不足やツヤ不良を起こす為、必ず標準規定量内で希釈してください。
- ✓ 製造ロットが異なると色味が変わる場合があります。補修塗で追加工事の際はご注意ください。
- ✓ 塗装前に必ず試し塗りをを行い色やツヤ感などを確認したうえで本施工を行ってください。
- ✓ シーリング材に直接塗装すると硬化不良を起こします。また、塗膜に割れ、剥がれを生じることがありますので塗装を避けてください。
- ✓ 開封した状態で長時間放置しないでください。また、材料は直射日光を避け、40℃以下の冷暗所で保管してください。
- ✓ 屋外又は換気の良いところでのみご使用ください。

※その他詳細な内容は安全データシート（SDS）を参照ください。

● 取扱い上の注意事項

- ✓ 引火性液体ですので、火気のあるところでの使用は避けてください。
- ✓ 火花を発生させない工具を使用し、静電気放電に対する予防処置を講じてください。
- ✓ スプレーミストが近隣に飛散しないよう留意し、十分な養生を行ってください。
- ✓ 容器からこぼれた場合、布で拭き取って水の入った容器で保管してください。
- ✓ 消防法に従って保管してください。
- ✓ 吸入すると有機溶剤中毒を起こす恐れがありますので保護具を使用してください。
- ✓ 直接皮膚に触れないよう保護めがね・手袋・長袖の作業衣等保護具を使用してください。
- ✓ 蒸気や臭いを吸込み気分が悪くなった場合は空気の清浄な場所で安静にしてください。
- ✓ 皮膚に付着した場合は直ちに石鹸水で洗い流し腫れや痛みや変色がある場合は医師の診断を受けてください。
- ✓ 目に入った場合は直ちに大量の流水で洗い医師の診断を受けてください。
- ✓ 誤って飲み込んだ場合は、直ちに医師の診断を受けてください。
- ✓ 取扱い後は手洗い、うがい、鼻孔洗浄を行ってください。
- ✓ 火災時には炭酸ガス、粉末または泡消火器を用いて初期消火をしてください。
- ✓ 塗料缶は産業廃棄物として処理してください。

※その他詳細な内容は安全データシート（SDS）を参照ください。

※本カタログの内容は予告なく変更することがありますので予めご了承ください。

